

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年7月13日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年7月13日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【6号機非常用ディーゼル発電機(B)の调速装置モーター配線交換の未実施について】 6号機非常用ディーゼル発電機(B)点検で、调速装置のモーター端子台の配線交換を行う予定としていたが、未実施であることを確認。 原因は、点検計画において配線交換について記載が漏れていた。 今後、当該配線を交換予定。</p>	G II
2	<p>【2号機原子炉格納容器ガス管理システム制御盤(A)の漏電しゃ断器の動作について】 2号機原子炉格納容器ガス管理システム制御盤(A)の漏電しゃ断器の動作を確認。 漏電しゃ断器の動作により、排気ファンおよび放熱器ファン・ヒータが(A)→(B)に自動切替を確認。 現場調査の結果、原子炉格納容器ガス管理システムの放熱器ファン回路の絶縁抵抗低下により、漏電しゃ断器が動作したことを確認。 今後、絶縁抵抗低下の原因を調査予定。</p>	G II